

令和8年度第1回伊勢市まち・ひと・しごと創生会議 議事要録

◆日時 令和8年4月21日(火) 19:00~19:30

◆会場 伊勢市役所東館5階 5-3会議室

◆出席委員

中村 三男委員、松月 菜生委員、森 友美委員、齋藤 平委員、川上 香里委員、鈴木 亜希子委員、西城 宏樹委員、秋山 則子委員、山川 一子委員

◆欠席委員

中村 聖委員、中村 基記委員、北出 学委員、北村 和也委員、安藤 大作委員

◆出席職員

情報戦略局【企画調整課長、同課副参事、同課主幹、同課主査2名、同課主事1名】

◆傍聴者 なし

◆結果概要

○各委員からの意見等及び市の回答は次のとおり。

1 第3期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について

(1) パブリックコメントの実施結果について

【委員】

・回答を求めるものではないが、アーティスト・イン・レジデンス制度など、文化・芸術の具体的な取組内容の意見が非常に練られていて、どこの方の意見なのか興味を持った。

(2) その他修正について

【委員】

・耐震補強工事補助件数がR6:6件からR7:20件に増加し、R8以降の目標は30件となっているがその要因は?また、30件分の予算は確保されているのか?30件以上の申請があった場合、どのように考えているか?

【事務局】

⇒PRに力を入れた結果、R7の実績値が大幅に増加した。さらなる推進を目指して、R8以降の目標値は30件としている。R8予算は30件分を確保しているが、それを上回るような状況になれば、補正予算等の検討をすることになる。

▼第3期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について了承をいただく。

2 答申について

【委員】

・移住相談される方の年齢層はどのような感じか?

【事務局】

⇒移住フェア等で対応する中で、体感としては6割程度が50歳代以上の定年退職した方や

まもなく定年退職する方が、伊勢志摩でのんびりと生活することを考えての相談である。数は多くないが若い世代の相談もある。

【委員】

- ・若い世代に移住してもらうためには、産科の確保や子育て施策の充実などが必要である。

【委員】

- ・今後の伊勢市を考えると、若い世代に移住してもらいたい。

【事務局】

⇒東京にある三重県の移住相談員に聞いた話では、伊勢市に移住したいと考えている方は①海に近い、②子育て施設の充実を求めているとのことであった。MiraISEでの相談体制や子育て支援センターは相談者のニーズにマッチすると思うため、しっかりとPRしていきたい。

【委員】

- ・三重県全体に言えることかもしれないが、伊勢市はアピールの仕方が上手くない印象を持っている。

【委員】

- ・情報発信等に対する意見について、付帯意見の3に「本会議の審議過程において議論された個別具体の取組に対する意見や提案等を考慮し、各種施策の推進に努めること」とあり、そこに集約されているという形で問題ないかと思う。

▼答申案について了承をいただく。

3 その他

- ・今後のスケジュールを連絡